

2019年6月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 株式会社マクロミル 上場取引所 東
コード番号 3978 URL <https://www.macromill.com>
代表者 （役職名） 取締役兼代表執行役社長グローバルCEO （氏名） スコット・アーノスト
問合せ先責任者 （役職名） 執行役副社長グローバルCFO （氏名） 清水将浩 TEL 03 (6716) 0706
四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	34,254	12.4	6,824	7.1	6,482	4.2	4,613	7.5
2018年6月期第3四半期	30,482	11.4	6,374	8.9	6,221	27.2	4,291	26.2

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	4,116	4.5	4,507	7.2	103.28	100.58
2018年6月期第3四半期	3,938	33.2	4,206	16.1	100.61	96.57

（参考）

	EBITDA		EBITDAマージン
	百万円	%	%
2019年6月期第3四半期	7,841	9.7	22.9
2018年6月期第3四半期	7,150	10.2	23.5

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	77,324	31,779	29,236	37.8
2018年6月期	75,230	27,468	25,262	33.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,400	10.9	7,650	0.6	7,050	△4.4	5,050	△2.3	4,500	△4.7
										112.67

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（参考）

	EBITDA		EBITDAマージン
	百万円	%	%
通期	9,150	5.7	20.6

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	39,961,700株	2018年6月期	39,638,700株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	96株	2018年6月期	96株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	39,859,097株	2018年6月期3Q	39,149,834株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、2016年6月期から国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) $EBITDA = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{償却費} + \text{固定資産除却損} + \text{減損損失}$
- (4) $EBITDA\text{マージン} = EBITDA \div \text{売上収益}$
- (5) EBITDA及びEBITDAマージンはIFRSにより規定された指標ではなく、当社グループが、投資家にとって当社グループの業績を評価するために有用であると考えた財務指標であります。
- (6) EBITDA及びEBITDAマージンは、当期利益に影響を及ぼす項目の一部を除外しており、分析手段としては重要な制限があることから、IFRSに準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおけるEBITDA、EBITDAマージンは、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があります、その結果、有用性が減少する可能性があります。
- (7) 2018年6月期の決算短信において、2019年6月期の業績予想における参考数値として掲載した調整後EBITDAは、上記EBITDAに上場関連費用を足したものであり、2019年6月期第3四半期は7,884百万円となりました。また、同調整後親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益は、親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益に、上場関連費用を足し、調整項目に係る税金等調整額を引いたものであり、2019年6月期第3四半期は4,159百万円となりました。いずれもIFRSにより規定された指標ではなく、当社グループが、投資家にとって当社グループの業績を評価するために有用であると考えた財務指標です。当該財務指標は、上場後に発生しないと見込まれる費用や非経常的損益項目（通常の営業活動の結果を示していると考えられない項目、あるいは同業他社に対する自社グループの業績を適切に示さない項目）の影響を除外しています。但し、いずれの調整額も2019年6月期においてきわめて些少であり、また2020年6月期以降はより減少すると見込まれることから、当該財務指標の開示は、2019年6月期の決算短信をもって終了する予定です。